

次世代高周波電源装置「N-QPoD」を開発

ネツレン(高周波熱錬株式会社 本社:東京都品川区 代表取締役社長 大宮克己、以下当社といいます)は、このたび、高効率性能と高い保守性を両立した次世代高周波電源「N-QPoD(エヌ・キューポッド)」を開発いたしましたのでお知らせいたします。

■開発の背景

製造現場では、生産性向上や省エネはもちろん、設備のダウンタイムを低減する高い保守性や、多様な加熱ニーズへの柔軟な対応が求められています。

当社は、SiC 電源技術と FPGA 制御技術を融合させ、さらに 25kW 単位で『ユニット化』を図ることで、これらの課題を解決する次世代高周波電源装置『N-QPoD』を開発いたしました。

■「N-QPoD」の特徴

- ①幅広い周波数帯(3~400kHz)への対応
- ②高効率な SiC 半導体の採用による、優れた省エネ効果
- ③ユニット化構造による、保守性および取り扱い性の飛躍的な向上
基本単位を 25kW としたユニット構造により、本体の小型化と整備性の飛躍的な向上を実現しております。

■今後の展望

本製品は、2026 年 9 月 9 日(水)~11 日(金)の 3 日間、東京ビッグサイトにて開催される『サーモテック 2026』に実演機を出展いたします。

展示会に併せて 25kW モデルの販売を開始し、今後は順次大容量化を進めていく計画です。当社は本製品を多様な加熱用途へ展開し、お客様の生産性向上と省エネルギーの実現に貢献してまいります。



以上